



安全誘導システム

ほたるいか

製品紹介

2つの車線誘導設備で
ドライバーや作業員を
ダブルで守る！



最高水準の道路^{みち}守りへ



阪神高速技術株式会社

〒550-0005 大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル
TEL:06-6110-7200(代表)

<https://www.hex-eng.co.jp/>

製品に関するお問い合わせ



株式会社
アドビック

〒661-0961 兵庫県尼崎市戸ノ内町 3-29-3
TEL:06-6498-1291(代表) FAX:06-6499-3481

<https://www.advic.co.jp/>

“ほたるいか”の由来

内照式予告看板は夜を照らすホタルに、
パターンライトで路面に投映する矢印のかたちが
イカに見えることからぼくたち2人で“ほたるいか”です！
ドライバーが夜間を安全に走行できるよう、
ぼくたちが光ってお知らせすることで
規制にいち早く気づいてもらえるようにするよ！



■「パターンライト」は、DNP大日本印刷の登録商標です。

2022.11



阪神高速技術株式会社



安全誘導システム

ほたるいか

ドライバーに工事規制をいち早く、確実に知らせる、誘導ライトと予告看板

高速道路上で規制を伴う工事においては、前方に看板を設置することで、ドライバーへ工事作業を行っていることをお知らせし、早めの車線変更を案内しています。

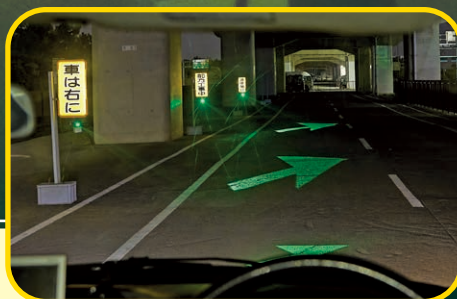
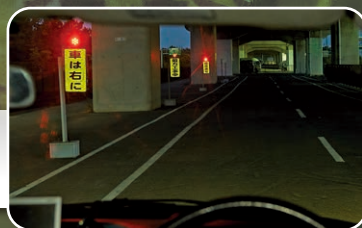
しかしながら、規制案内に気付かず衝突事故が発生し、最悪の場合、ドライバーや作業員の命に関わる事故につながる恐れがあります。

安全誘導システム「ほたるいか」は、

これまでの予告看板を点滅させることで、ドライバーが遠方からでも工事規制に気付きやすくなり、矢印を路面に投射することで、車線変更の方向・タイミングが分かりやすい環境を作るドライバーと作業員の安全を守る、パターンライトと内照式予告看板です。

これまでの課題

- 夜間時は予告看板が見えにくいため、ドライバーが認識しづらい



……▶ ドライバーへの視認性を高める、「パターンライト」「内照式予告看板」の特長

パターンライトは・・・

！ 対象領域にのみ
高精細で照射可能

→ 特殊な光で、ドライバーの
運転の妨げにならない！

内照式予告看板は・・・

！ 自発光で
高輝度な表示が可能

→ LED光源を使用した自発光で
従来の約2倍の輝度を保持！

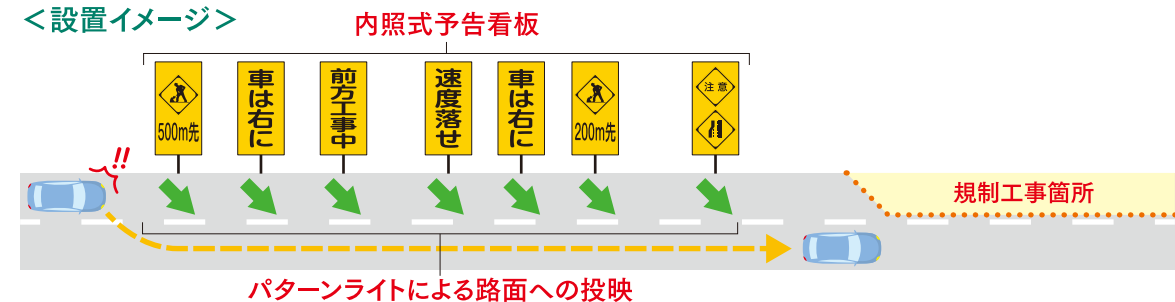


特長

遠くからでも“はっきり”見えることで、いち早く車線変更を促す

内照式予告看板は自発的に発光することで、従来の約2倍の輝度を保持。加えてパターンライトを走行車線の路面上に照射することで、ドライバーに工事規制を早期に認識してもらいやすくなります。

< 設置イメージ >



パターンライト

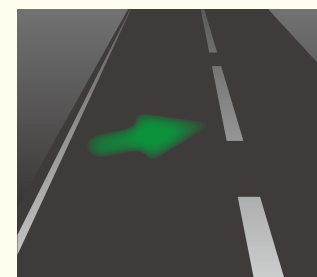
特殊な光学ユニットで遠方視認性の高い矢印を路面上に表示できるため、ドライバーが認識しやすくなります。

電源コネクター
接続口

点灯スイッチ

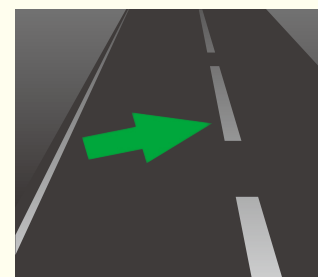
- 重さ：約700g
- 寸法：50×50×254mm
- 点灯パターン：常時点灯、点滅
- 連続使用時間：予告看板のバッテリーからの供給と合わせれば一晩、利用可能

一般的なライトの
投射イメージ図



遠方観察時の投射形状が潰れたり、輪郭がボケたりして形状が認識しづらい。

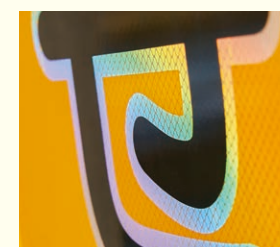
パターンライトの
投射イメージ図



遠方観察時の投射形状潰れを抑制し、輪郭もクリアであるため形状が認識しやすい。

内照式予告看板

特殊なプリズム反射シートを採用することで、走行車のライトの反射だけでなく、看板自体がLED照明で発光。視認性が格段に向上します。



プリズム反射シート

- 重さ：約8kg(バッテリー含む)
- 寸法：450×900mm
- 点灯パターン：常時点灯、点滅
- 連続点灯時間：約23時間(バッテリー1個)

構造イメージ図

LED照明

反射光

自発光

プリズム反射シート
文字シート
ベースパネル
導光板

裏面



バッテリー
落下防止
ワイヤ
金具
プレ止め
ホルダ
パターンライト
電源コネクター

施工

従来通りの手順での設置が可能

シンプルな構造で持ち運びしやすいため、これまでと同じ手順で設置できます。パターンライトも、ワンタッチで取り付け可能であるため、規制する場所に合わせて、設置方法を調整できます。

施工手順



予告看板を遮音壁に取り付け、プレ止め金具で固定する。



パターンライトを予告看板に付属しているホルダに取り付け、電源コネクタに接続する。



予告看板のバッテリーとパターンライトのスイッチをONにして、点灯状況を確認。



落下防止ワイヤを取り付けて設置完了。